

心理学	1年・後期	1単位	非常勤講師 宮野 祥雄
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31120021

1. 授業のねらい・概要

(1) 心理学とは、(2) 心理学の過去と連合心理学派以降の諸学派、(3) 現代心理学の動向（生活に役立つ心理学、学際領域における事柄の共同研究化、ITを活用しての心理学）と古くて新しい幾つかの問題、(4) 心理学の研究手法（観察法、調査法、検査法、その他の方法）、(5) 心理学の領域：発達、感情、欲求、言語、(6) 心理学の領域：知能、思考、記憶、(7) 心理学の領域：学習、性格・人格、視知覚、(8) 態度、心と防衛機制など）を通して心理学の基礎的な知見を概説する。受講生が真面目に学習するならば、人間の心ないし行動の法則を、自己の認知構造に取り入れることができよう。これらを自己のものとするならば、自己理解や他者理解におおいに役立つであろう。

2. 学修の到達目標

授業の各回において取りあげる基礎的かつ基本的知見を理解し、人間の心ないし行動の法則を、自己のものとする。

3. 授業の進め方

講義。質疑応答の時間を用意する。

4. 授業計画

1. 心理学とは
2. 心理学の過去と諸学派
3. 現代心理学の動向と古くて新しい幾つかの問題
4. 心理学の研究手法
5. 心理学の領域：発達、感情、欲求、言語
6. 心理学の領域：知能、思考、記憶、
7. 心理学の領域：学習、性格・人格、視知覚、
8. 心理学の領域：態度、心と防衛機制 など。

※授業計画における心理学の領域の順序は入れかわる場合がある。前述した事柄を、時間の許す限り、取りあげる。※最後の時間に全体のまとめを行う。

5. 成績評価の方法・基準

定期テストの結果（100%）を、評価の対象とする。

6. テキスト・参考文献

テキストは使用しない。参考文献については講義時に説明する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスや参考文献をもとに今回の講義内容を理解しようとの思いを抱いて講義に臨み、確りと予習・復習を行って欲しい。各講義における受講準備として、予習を、1 時間程度行って欲しい。各講義の復習を必要に応じて行って欲しい。最低、30 分程度は時間をかけて欲しい。

8. 受講上の留意事項

“心理学” の内包と外延のアウトラインを取りあげる。講義内容をもとに参考文献をもって研鑽を積んで欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

上記の各回における講義のまとめ時とその次の回における導入の時間に、学習してきた知見の理解度をチェックする。定期試験の終了時に試験の解答を説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。